

CASBEE新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	ウオロク小針南店	
建設地	新潟県新潟市西区小針7丁目362-1,396-2,396-6,小針8丁目418-4	
用途地域	第1種住居地域	
建物用途	物販店,	
竣工年	2024年11月 予定	
敷地面積	9,674.81 m ²	
建築面積	3,093.45 m ²	
延床面積	2,998.82 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2023年12月15日	

2. CASBEE新潟の評価結果

 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{43.8}{33.9} = 1.2$
---	----	--

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.4		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 Q2.1.3 Q2.3.3	3.0 4.0 3.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.5		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 Q2.2.4	3.0 2.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 LR1.2	5.0 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.3		節水 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 LR2.2.4 LR2.2.6	1.0 1.0 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 Q3.3.2	1.0 2.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.5		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 Q3.3.1	2.0 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

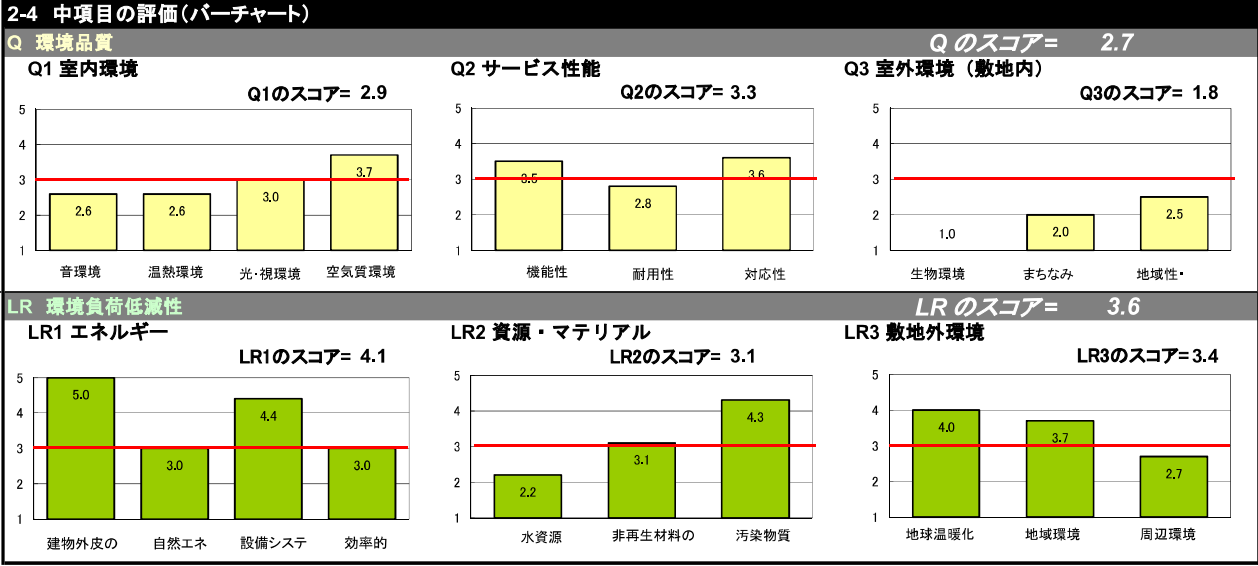
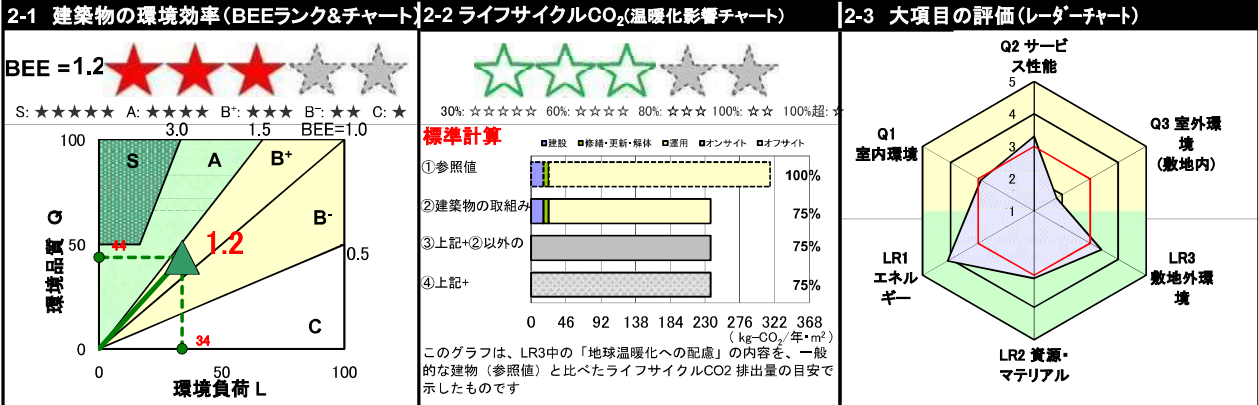
本計画では、店舗内の床の段差をなくしたり、通路幅を広めに確保するなどバリアフリーについて配慮を行っています。
 また、照明は全てLEDを採用し、そのほかの機器についても省エネ機器を導入し省エネルギーにも配慮を行っています。



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ウオロク小針南店	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市西區小針1丁目362-1, 365-2, 365-6 小針1丁目418-4	構造	S造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,500時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年12月15日
敷地面積	9,675 m ²	作成者	(有)商業施設マネジメント
建築面積	3,093 m ²	確認日	
延床面積	2,999 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 建物の高さを抑え、周辺住宅との調和を考慮した色彩とした。騒音発生機器は、住環境を考慮しできるだけ住宅から離して設置した。		その他 建設工事における廃棄物削減、リサイクル等を考慮しながら作業を行う。
Q1 室内環境 来客者に対し、快適な室内環境となるよう照明計画、空調設備のゾーニング、建築基準法による換気設備等の配置に配慮した。ただし、商品の鮮度を害さないよう調整している。	Q2 サービス性能 来客者の回遊性を考慮し、通路等空間を確保するよう配慮した。(身障者を含む)	Q3 室外環境 (敷地内) 夜間の駐車場照明において、住宅側に光が差し込まないように配慮した。
LR1 エネルギー 夏場の日照、冬場の風向き等を考慮し建物の配置を行い、運営に係るエネルギー全般の抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料の使用に注意を払った。	LR3 敷地外環境 風向きを考慮し排気による周辺住宅への影響が出ないように注意を払った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される